

2025年10月7日

学生評価で「海外留学」「英語での授業」が全国1位に
—2024年度文部科学省「全国学生調査」ポジティブリスト(医学、歯学、薬学、保健分野)—

文部科学省が公表した「第4回全国学生調査(試行実施)」において、本学は、「海外留学・海外研修」や「主に英語で行われる授業の履修」をはじめとする複数の項目で全国トップクラス(医学、歯学、薬学、保健分野 169 学部)の評価を獲得しました。

本調査は、学生の視点から大学教育の実態を把握し、教育改善に繋げることを目的として全国の大学を対象に実施されました。今回初めて公表された「ポジティブリスト」は、各質問項目で学生から特に高い評価を得た大学・学部を上位から一覧にしたもので、本学の教育の質の高さが客観的に示される結果となりました。

調査は2024年10月28日～2025年3月7日、国立教育政策研究所と共同で、全国の大学生を対象に実施し、13万人を超える学生が回答しました。

卓越したグローバル教育と専門性を学生が高評価

本学が基本理念に掲げる「国際性を目指した大学」を体現する教育プログラムが、学生から高い評価を受けました。特に、世界で活躍するために不可欠な経験や能力に関する項目で、1位・2位を多数獲得しています。

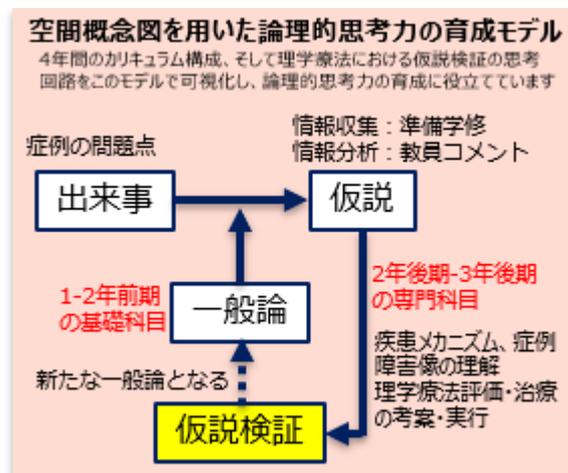
<ポジティブリスト(医学、歯学、薬学、保健分野) 主な掲載項目>

- 海外留学・海外研修
 - 1位:福岡薬学部
 - 2位:福岡保健医療学部
- 主に英語で行われる授業の履修
 - 1位:医学部
- 外国語を使う力
 - 2位:医学部
- 異なる文化に関する知識・理解
 - 2位:成田看護学部
 - 福岡保健医療学部(13位)、医療福祉学部(15位)、福岡薬学部(19位)、成田保健医療学部(20位)、赤坂心理・医療福祉マネジメント学部(23位)、医学部(25位)
- 専門分野に関する知識・理解
 - 4位:成田保健医療学部

さらに、本学の下記の教育改善の取り組みが、ポジティブリストの公表資料で紹介されました。

- 成田保健医療学部「教育課程の体系的可視化と密度の濃い主体的な学修を促す取組」

これは、成田保健医療学部理学療法学科で実践されている、論理的思考力を育成するための教育モデルです。基礎科目から臨床実習まで、「仮説検証型」の思考ツール(空間概念図)を用いることで、学生が自ら課題を発見し、主体的に解決策を探求する力を養います。講義計画書による準備学習の明確化や、教員と学生間での相互評価を取り入れた丁寧なフィードバックも、学生の深い学びに繋がっています。



学生一人ひとりの主体的な学びを促し、論理的思考力を体系的に育成する教育実践が、学生からの高い評価の背景にあると考えられます。

今回の調査結果を励みとし、本学はこれからも学生の成長を第一に考えた質の高い教育を提供し、国内外の保健医療福祉分野に貢献できる人材を育成してまいります。

・文部科学省 令和6年度「全国学生調査(第4回試行実施)」ポジティブリスト

https://www.mext.go.jp/content/20250930-koutou02-000001987_2.pdf

・文部科学省 令和6年度(2024年度)「全国学生調査(第4回試行実施)」の結果について

https://www.mext.go.jp/content/20250930-koutou02-000001987_1.pdf